

セッション1 10月30日(口頭発表 9:20~10:35 ポスター発表 10:35~11:25)

- S1-01 加熱土壌ガス吸引によるVOCs土壌地下水汚染の原位置浄化
○佐藤幸孝(アジア航測)・小幡博志(日本国土開発)・伊藤久敏(アジア航測)
- S1-02 VOCsのバイオレメディエーションにおいて加温が分解菌および微生物群集構造に及ぼす影響
○山崎祐二・長谷川愛(竹中工務店)・鈴木市郎・田小維・小林剛(横浜国立大学)・清水孝昭(竹中工務店)
- S1-03 バイオスティミュレーション用薬剤の改良 諸条件を想定した分解促進効果確認
○鶴岡佑樹・虫明晋哉・伊藤浩(東急建設)・小瀧光生・篠田功(ADEKA総合設備)
- S1-04 徐放性を有す新規有機資材の検討
○須網功二・伊藤雅子・高畑陽・守屋雅之(大成建設)
- S1-05 *Dehalococoides* 属細菌大量培養における水素濃度測定法の検討
○榎本幹司・奥津徳也(栗田工業)
- S1-06 ポリオオンコンプレックスを用いた粉塵飛散防止材の検討
○井出一貴・三浦俊彦・千野裕之(大林組)
- S1-07 上向流カラム通水試験の国際標準化への取組状況(4)
○肴倉宏史(国立環境研究所)・田本修一(土木研究所寒地土木研究所)・ISO/TC 190部会(土壌環境センター)
- S1-08 地盤改良による土壌からの重金属等の溶出挙動について
○井樋幸輝・黒山英伸(日本国土開発)
- S1-09 酸化マグネシウムによる重金属の不溶化機構の解明に関する基礎的検討その2
○岸森智佳(太平洋セメント)・高野淳・長瀬孝宏(太平洋コンサルタント)・松山祐介・肥後康秀(太平洋セメント)
- S1-10 非晶質アルミニウムケイ酸塩におけるフッ素・ホウ素吸着機構について
○宮原英隆・平井恭正(石原産業)・森本和也・万福和子・鈴木正哉(産業技術総合研究所)
- S1-11 吸着材による重金属汚染物質の除去浄化システムの開発
○今田直登(広島ガス)・鈴木建夫(広島工業大学)
- S1-12 自然由来でヒ素を溶出するトンネル掘削土砂に対する酸化マグネシウム系材料を用いた不溶化処理に関する検討(その2)
○大山 将(鴻池組)
- S1-13 長尺ボーリングを想定した模擬スライム試料の活用可否の検討
○山田優子・平山利晶・中島誠・嵐正治・三好壮一郎(国際航業)
- S1-14 地盤中の重金属溶出量・含有量の分布に関する考察
○石井六夢(JFEミネラル)
- S1-15 バッチ型試験に基づく自然由来鉛含有土壌からの元素溶出挙動における制御要因の検討
○井本由香利・保高徹生・張銘(産業技術総合研究所)・染矢雅之・東野和雄(東京都環境科学研究所)
- S1-16 沖縄特殊土壌(国頭マージ)のバイオレメディエーション前処理に関する基礎研究
○中野拓治・松田幸弘・崎濱秀明・村田憲久・蔵当三紀夫・仲栄真史哉(沖縄汚染土壌浄化技術研究会)
- S1-17 土壌の分級・分散における浸漬処理の影響
○伊藤健一(宮崎大学)・高桑駿(北海道大学)・富田洋平・藤原茂樹(JFEエンジニアリング)・伊藤真由美(北海道大学)
- S1-18 除染土壌の建設資材化のための品質調整システムの実証
○八塩晶子・山田祐樹・松浦亮・大熊史子・日笠山徹巳(大林組)
- S1-19 放射性セシウムの森林土壌中移動メカニズムの検討
○下川諒・米田稔・島田洋子(京都大学)・颯田尚哉・菅原大輔(岩手大学)
- S1-20 ドレーン工法を用いた油回収に関する検討(その3)
○大塚誠治・関弘・河合達司・石神大輔(鹿島建設)・三成昌也・小柳勇也(錦城護謨)
- S1-21 ワインの搾りかすを用いたVOC汚染浄化に関する検討(その2)

○高橋季之(JXTGエネルギー)・井上潤一(シナプテック)・山口和昭(アバンス)・大橋貴志(NIPPO)・大保義秋(日本建設機械商事)・三橋秀一(JXTGエネルギー)

S1-22 有酸素/無酸素条件における自然由来重金属等の溶出挙動と土粒子微細構造変化の評価

○上島雅人・肴倉宏史(国立環境研究所)

S1-23 使用済ヒ素吸着材の環境安定性に及ぼすケイ酸の影響—マグネシウム系吸着材—

○杉田創・小熊輝美・張銘・原淳子・川辺能成(産業技術総合研究所)

S1-24 1,4-ジオキサン¹の土壌間隙水中の分配挙動の検討

○中村謙吾・駒井武(東北大学)

S1-25 水銀汚染土壌に対する溶媒洗浄工法の適用性について

川上嘉充・富士田浩二・○福地寛(エコサイクル)・武島俊達(水環境エンジニアリング)

S1-26 ミカエリス・メンテン式を用いた脱ハロゲン化呼吸細菌の培養シミュレーション

○日下部俊弥・吉田奈央子(名古屋工業大学)

S1-27 簡易分析法による有害重金属類の土壌調査

○富田潤一・橋本佳明・西山依子・田邑萌・西村修一(中央開発)

S1-28 大規模不法投棄現場におけるハロゲン酸化物の排出特性

○颯田尚哉・立石貴浩・戸田望・佐々木佑莉・平谷一馬・佐藤郁(岩手大学)

セッション2 10月30日(口頭発表 13:15~14:25 ポスター発表 14:25~15:15)

S2-01 長期徐放性栄養剤の浸透性向上のための現場試験

○本田ゆう子・西田憲司・佐藤祐輔・日笠山徹巳・緒方浩基(大林組)

S2-02 発表キャンセル

S2-03 新規制動向を踏まえた土壤汚染対策工法の検討～対策における課題と対策上の留意点～

○大橋貴志・白石祐彰・藤崎幸市郎・山崎祐二・伊藤良治・新規制動向を踏まえた調査対策スキームの検討部会(土壤環境センター)

S2-04 VOCsによる地下汚染を把握するための調査方法

○笹田直己・遠藤康仁(地盤環境エンジニアリング)

S2-05 クロロエチレン類の微生物分解速度と影響因子に関する検討

○張銘・吉川美穂(産業技術総合研究所)

S2-06 クロロエチレン等の多様な土壌に対する吸着特性について

○末継淳・久保大地・田小維・小林剛(横浜国立大学)

S2-07 1,4-ジオキサン汚染土壌・地下水に対する生物浄化の適用性評価

○渡邊亮哉、山本哲史、斎藤祐二(大成建設)

S2-08 業務プロセスから見た特定有害物質の使用について

○山本雅也・吉田宗久・大図啓史・山田康晴・飯田哲也・吉川克彦(土壤汚染対策コンソーシアム)

S2-09 シート状吸着材の重金属イオン吸着特性評価(その2)

稲富伸一郎・石川雅洋・中村茂・下田宏治(東洋紡)・西岡国夫(呉羽テック)・宮脇健太郎(明星大学)

S2-10 地下水透過性壁による地下水の中和およびふっ素浄化の実証実験(その2)

○加藤顕・日笠山徹巳(大林組)

S2-11 0価鉄粉による重金属の固定

○渡辺哲哉・澤渡祥・須藤達也・尾崎 隆(JFEミネラル)

S2-12 不飽和土壌の水移動に伴う鉛の移動とアパタイトによる鉛不溶態形成

○浜田一輝・加藤雅彦(明治大学)

S2-13 各種の溶出試験による堆積岩の酸性化に伴う重金属等溶出傾向検討事例

○宮口新治・柴田健幹・武地遼平・大野敦史(応用地質)・桑原充・高畑修(福島県)

S2-14 埼玉県内に分布する海成堆積物の化学的特性

○石山高・八戸昭一・濱元栄起・柿本貴志・渡邊圭司(埼玉県環境科学国際センター)

S2-15 自然由来重金属等を含む土壌や岩石の適正利用に係るケーススタディ

○奥村正孝・熱田真一・峠和男・須藤泰幸・門間聖子・汚染土壌等の適正な利用に関する検討部会(土壤環境センター)

S2-16 中国における土壤汚染の現状とファイトレメディエーション展開の可能性(その2)

○張文字・飯野浩成(フジタ)・常文越・趙光輝・劉智・張依然(瀋陽環境科学研究院)

S2-17 中性改質材の改質効果に関する基礎的検討(その2)

○森喜彦・松山祐介・肥後康秀・守屋政彦(太平洋セメント)

S2-18 放射性物質を含む土壌の受入れに対する汚染土壌処理業者の考え方に関する調査

○大谷崇・荻野晃・永野公太・椿雅俊・放射性物質による土壌汚染調査・対策検討部会(土壤環境センター)

S2-19 沖縄県においての油分を対象としたバイオレメディエーション技術改良

○比嘉一葉・小松大祐・橋本勇郎・和知剛(エンバイオ・エンジニアリング)

S2-20 放射性セシウム捕捉ポテンシャル迅速測定法の開発

○加藤遼・Hndra Adhi Pratama・米田稔・島田洋子・福谷哲・池上麻衣子(京都大学)

S2-21 廃棄物を活用した石炭灰からの規制対象元素の溶出抑制技術の開発

○吉井清隆・長尾有記・吉田洋一(宇部興産)

S2-22 福島第一原発事故後6年目における落葉樹とその周辺土壌の放射性セシウム濃度

○高橋智之・黄田毅・趙成珍・井上千弘(東北大学大学院)

S2-23 塩素化VOCsを対象としたコンソーシアを利用するバイオオーグメンテーション法の開発

○小松大祐・米塚健太(エンバイオ・エンジニアリング)・養王田正文(農工大), 西村実(エンバイオ・ホールディングス)

S2-24 沖縄中南部モデル土壌を用いた重油汚染の浄化試験と、重油分解細菌叢の馴化モニタリング

○上地輝(沖縄県環境科学センター)・田邊俊朗・玉城康智(沖縄工業高等専門学校)・井口亮(沖縄工業高等専門学校・産業技術総合研究所)・貝沼真美(OIST)・照屋正悟(照屋土建)

S2-25 放射性物質が存在するおそれのある土地の形質変更時の事例研究

○鈴木敬一・奥田清明・小西正郎・森岡錦也・放射性物質による土壌汚染調査・対策検討部会(土壌環境センター)

S2-26 地下水中のクロロエチレンを対象としたエアスパーキング工法に関する検討

○大石雅也・根岸昌範・金子伯男(大成建設)

S2-27 搬出汚染土壌管理の電子化の検討

○田邊康太・大村啓介・大坪孝太郎(竹中土木)

セッション3 10月30日(口頭発表 15:20~16:30 ポスター発表 16:30~17:20)

- S3-01 VOC広域汚染に対する地下水循環嫌気バイオ法の現場試験による適用性評価
○篠原智志・伊藤圭二郎・酒井学・河合達司(鹿島建設)
- S3-02 ウォータージェット技術を用いた難透水性汚染土壌の原位置バイオ浄化(その3)
○上沢進・樋上裕之・山野辺純一(ケミカルグラウト)・Ann Borden (EOS Remediation)・ Meichin Yeh (EOS Asia Remediation)
- S3-03 *Dehalococcoides* 属細菌を用いたバイオオグメンテーション利用に関する実験考察
○米塚健太・小松大祐(エンバイオ・エンジニアリング)・養田正文(東京農工大学), 西村実(エンバイオ・ホールディングス)
- S3-04 ライフサイクルCSM手法の活用方法の検討
○奥田信康・宮田彰・白井昌洋・折茂芳則・大西絢子・サステイナブル・アプローチ検討部会(土壌環境センター)
- S3-05 埼玉県内における地下水水質常時監視の現状と課題
○柿本貴志・石山高・濱元栄起・八戸昭一(埼玉県環境科学国際センター)
- S3-06 揚水ポンプの閉塞に関する対策事例
○松尾晃治・日野良太・加藤顕・竹崎聡・柴田健司(大林組)
- S3-07 気泡シールド工法の発生土に含まれる界面活性剤の生分解性に関する基礎的検討
○近藤俊介・高畑陽・西田与志雄(大成建設)
- S3-08 乾式磁力選別による水銀汚染土壌の処理について
○吉俊輔・友口勝(DOWAエコシステム)
- S3-09 土壌・地下水汚染の措置・対策時の技術適用に関するアンケートの集計結果について(平成28年度実態調査)
○山下巧・河内幸夫・門間聖子・中島広志・加洲教雄・技術実態集計分科会(土壌環境センター)
- S3-10 酸化鉄系資材によるAs(Ⅲ)吸着特性の評価
○平井恭正・宮原英隆(石原産業)・橋本洋平・亀田健太郎・板橋智彦(東京農工大学)
- S3-11 吸着層を模擬したヒ素に対する鉄粉耐久性の検討
○澤田一嘉(神戸製鋼所)
- S3-12 粒度が異なる石炭灰混合材料のバッチ溶出特性
○小川翔平・井野場誠治(電力中央研究所)
- S3-13 室内でエージング処理した石炭灰の長期溶出特性に関する研究
○村田博一・浅田素之(清水建設)
- S3-14 シート状吸着材の吸着特性評価方法の検討(その2)
○宮脇健太郎(明星大学)・下田宏治(東洋紡)・西岡国夫(呉羽テック)・中村茂(東洋紡)
- S3-15 MgO不溶化材によるホウ素不溶化の地球化学モデリング
○野澤笑子(環境材料エンジニアリング・北海道大学)・佐藤努・大竹翼(北海道大学)・木下久美子・山本中一(環境材料エンジニアリング)
- S3-16 自然由来重金属等含有建設発生土の盛土構造物を対象とした多段カラム試験と充填密度カラム試験の実施事例
○打木弘一・野田典広(基礎地盤コンサルタンツ)
- S3-17 平成28年度除去土壌再生利用実証事業の報告(その2:盛土実証事業)
○大久保英也・松尾寿峰・谷澤房郎・篠崎剛史(除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合)
- S3-18 熱処理による粘土鉱物のCs収脱着特性の変化
○黒木健臣・池上麻衣子・福谷哲・米田稔(京都大学)
- S3-19 2層式バイオベンディング工法による油汚染不飽和地盤の原位置浄化技術
松村綾子・○三野香里・金子伯男・高畑陽(大成建設)
- S3-20 沖縄県における嫌氣的バイオレメディエーションによる地下水の油汚染浄化技術の開発

○ムルザバエフマルセル・貝沼真美(沖縄科学技術大学院大学)・古家克彦(沖縄県環境科学センター)・田邊俊朗(沖縄工業高等専門学校)・山入端豊(大鏡建設)・ゴリャニンイゴリ(沖縄科学技術大学院大学・エジンバラ大学)

S3-21 重金属汚染土壌に対する熱処理適用の検討

○園田 健人・橋本 洋平(東京農工大学)

S3-22 日本におけるサステナブルレメディエーションの取組み

○古川靖英(竹中工務店)・保高徹生(産業技術総合研究所)・舟川将史(竹中工務店)・中島誠(国際航業)・鈴木寿一(キヤノン)・名取雄太(東京都)

S3-23 熔融飛灰中Csのジオポリマー固化による不溶化

○高岡昌輝・中村祐太・塩田憲司・日下部武敏・藤森崇・大下和徹(京都大学)

S3-24 土壌洗浄を用いた枯葉剤由来ダイオキシン汚染土壌の効率的な浄化・減容化処理

○毛利光男・青木陽士・設楽和彦・石鍋誠一・平澤卓也・清水優(清水建設)

S3-25 マレーシアにおける汚染地の管理に関するガイドラインの概要

○木下俊輔・石黒圭子・白井昌洋(イー・アンド・イー ソリューションズ)

S3-26 ふっ素対応の吸着マットの開発

○尾崎隆・須藤達也(JFEミネラル)・笠水上光博(銭高組)

S3-27 新規制動向を踏まえた土壌汚染調査手法の検討～文献調査結果と各物質の調査・分析における課題への対応策～

○鈴木義彦・青木陽士・森脇涼介・鶴岡佑樹・大野敦史・新規制動向を踏まえた調査対策スキームの検討部会(土壌環境センター)

セッション4 10月31日(口頭発表 9:00~10:15 ポスター発表 10:15~11:05)

- S4-01 UCH007株を用いるバイオオーグメンテーション効果の基礎的検討
○伊藤雅子・高畑陽(大成建設)・内野佳仁・山副敦司(製品評価技術基盤機構)
- S4-02 VOCs汚染状況が異なる地盤における原位置微生物処理への影響
○佐藤祐輔・西田憲司・緒方浩基・本田ゆう子・日笠山徹巳(大林組)
- S4-03 半止水型土壌カラム試験時の加温と土壌の違いが揮発性有機塩素化合物の還元脱塩素反応に及ぼす影響
○田小維・鈴木市郎(横浜国立大学)・山崎祐二・長谷川愛・清水孝昭(竹中工務店)・小林剛(横浜国立大学)
- S4-04 1,4-ジオキサンの土壌汚染調査方法についての検討
○中島誠・日高レイ(国際航業)・中村謙吾・駒井武(東北大学)
- S4-05 日本版SR評価項目を用いた浄化工法の選定事例とその課題
○舟川将史・佐藤徹朗・日野成雄・高畑陽・サステイナブル・アプローチ部会(土壌環境センター)
- S4-06 固形凝集剤を用いた充填カラム式濁水処理方法の検討
○山崎啓三・黒岩正夫・高田尚哉・三浦俊彦(大林組)・小野晃正・門脇拓人(ジェイカムアグリ)
- S4-07 土壌汚染に係る調査の瑕疵
○木下絵美・糸永眞吾(アサノ大成基礎エンジニアリング)
- S4-08 建屋直下への土壌浄化薬剤注入法における設計技術
○西田憲司・鈴木和明・三浦俊彦・日笠山徹巳(大林組)・大島 浩(大阪防水建設社)・平井恭正(石原産業)
- S4-09 食品廃棄物の重金属に対する吸着特性に関する研究
○吉田秀典(香川大学)・柴田慶一郎(香川大学大学院)・井上紘(岡山市役所)・松本直通・末永慶寛(香川大学)
- S4-10 生分解性キレート剤を用いた砒素汚染土壌のソイルフラッシングの基礎検討その2
○地井直行(西松建設)・齋藤誠・石井健斗(金沢大学大学院)・山崎将義・石渡寛之(西松建設)・長谷川浩(金沢大学)
- S4-11 安定化されたシュベルトマナイトの合成とヒ素吸着性能
○平岡秀樹・沓名洋典・鷹嘴篤(東亜合成)
- S4-12 貝殻を有効活用した地下水中のフッ化物イオン除去法の開発
○野澤拓・晴山渉(岩手大学)・遠藤哲哉(セロリ)
- S4-13 Framboidal pyriteの環境地質学的意義～上総層群堆積物の事例
○熱田真一(アサノ大成基礎エンジニアリング)・太田岳洋(山口大学)
- S4-14 建設残岩からの有害元素溶出特性の評価
○原淳子・川辺能成(産業技術総合研究所)・永瀬弘喜・友口勝(DOWAエコシステム)・張銘(産業技術総合研究所)
- S4-15 大気沈着由来の重金属土壌汚染地周辺の再飛散によるリスク評価手法の検討
○佐々木佑真・グエンティールランビン・田小維・小林剛(横浜国立大学大学院)
- S4-16 ため池底質除染に適応する脱水促進剤の開発
○赤坂真吾・尾花誠一・福光邦夫(宇部マテリアルズ)
- S4-17 除去土壌等の輸送用簡易遮水トレイの技術開発事例 ― 荷台一体タイプの開発 ―
○大谷崇・島田曜輔・岡田太一・橋本宏治・守屋雅之(大成建設)
- S4-18 クロロベンゼン類含有土壌へのバイオ処理適用性検討
○大西健司・日野良太・福武健一(大林組)
- S4-19 ハクサンハタザオによる坑廃水中からのカドミウムの除去
○井上千弘・黄田毅・銭照杰(東北大学)・北島信行(フジタ)・金山晃大・林健太郎(JOGMEC)
- S4-20 人工水路を用いた植物による重金属類を含む浸出水の濃度低下と蒸発散

○岡崎健治・倉橋稔幸・山崎秀策(土木研究所寒地土木研究所)・榎原正幸(愛媛大学)

S4-21 土壌溶出試験における遠心分離後からろ過までの時間別分析結果の比較

○山本安依子・柴谷尚男(関西環境管理技術センター)

S4-22 DNAアプタマーを用いた簡易ヒ素(Ⅲ)分析手法の開発

○松永光司(北海道大学)・奥山優(道路建設)・岡部聡・高橋正宏・佐藤久(北海道大学)

S4-23 1,4-ジオキサンに対するイオン交換樹脂を用いた吸着処理に関する検討

石川豊・○松田俊・富士田浩二(エコサイクル)

S4-24 不溶化処理土に於ける長期安定性の評価

○森真菜実・梅田敦(メイホーエクステック)・川上栄史・松澤郷至(前田建設工業)・李富生(岐阜大学)・加藤雅彦(明治大学)

S4-25 ふっ素汚染地下水に対する原位置拡散防止対策の検討

○中平淳・根岸昌範(大成建設)

S4-26 シバを用いた油汚染土壌のファイトレメディエーション

○藤田昌志(住友林業緑化)・日下部友昭・石尾将吾・大志万浩一(住友林業)・家田裕(JXTGエネルギー)

S4-27 粘土鉱物中Csの脱離に影響を与える植物根共生微生物の探索

○木村建貴・福谷哲(京都大学)・山路恵子(筑波大学)・池上麻衣子(京都大学)

S4-28 TCE等のバイオレメディエーションにおける細菌叢への温度影響の時系列データ解析

○鈴木市郎・田小維・小林剛(横浜国立大学)・山崎祐二・北村岳・清水孝昭(竹中工務店)

セッション5 10月31日(口頭発表 13:00～14:10 ポスター発表 14:10～15:00)

- S5-01 マイクロ/ナノポーラスセラミックを用いた水処理技術の開発
○浅井靖史・石渡寛之(西松建設)・日下英史(京都大学大学院)
- S5-02 大豆ホエーによる揮発性有機塩素化合物のバイオレメディエーション
○浅川翔太・保賀康史・田中宏幸(鴻池組)・桂敦也・佐藤匠(不二製油)・芦田茂(不二製油グループ本社)
- S5-03 新規制動向を踏まえた汚染土壌処理業の実態調査～文献、アンケート調査から見える対応状況～
○濱本知美・小原智剛・永瀬弘喜・高橋由布子・相澤晃・新規制動向を踏まえた調査対策スキームの検討部会(土壌環境センター)
- S5-04 微生物叢解析に基づくクロロエチレン類汚染サイトにおける汚染物質残存状況の評価
○吉川美穂・張銘・川辺能成(産業技術総合研究所)
- S5-05 地盤環境に係るサンプリングのための新たなISO規格－ISO 18400シリーズの概要－
○中島 誠・ISO/TC 190部会(土壌環境センター)
- S5-06 中国における固体廃棄物堆積由来の汚染土壌修復の実例
○仇啓涵・羽瀧博臣(住化分析技術上海)・肖潇(南昌航空大学)・大矢仁史(北九州市立大学)・大悟法弘充(住化分析センター)・冷健雄(江西智匯環境技術)
- S5-07 中国における土壌・地下水汚染に関する法律の動向(その2)
○加藤明・西岡公威・白井昌洋(イー・アンド・イーソリューションズ)・徐晓晶(苏州同和环保工程)
- S5-08 自然由来ヒ素を含む掘削岩から溶脱したヒ素の下位土壌への集積とその再溶出性
○安達美佳・加藤雅彦(明治大学)
- S5-09 交流電界印加による植物生長促進効果の検討とファイトレメディエーションへの応用
○菅原一輝・佐宗佳祐(成蹊大学)・小川人士(玉川大学)・鈴木誠一(成蹊大学)
- S5-10 自然由来汚染に対応するリスク低減対策の検討～不溶化資材に関する最新動向調査結果～
○高橋由布子・中島秀也・根岸昌範・島田曜輔(大成建設)
- S5-11 環境条件による重金属溶出挙動変化と広範囲で安定な不溶化技術
○石神大輔・伊藤圭二郎・篠原智志・河合達司・佐藤 毅・上島 裕(鹿島建設)
- S5-12 ふっ素汚染土壌の原位置不溶化を目的とした、リン酸カルシウム(DCPD)不溶化資材の反応性に及ぼす共存イオンの効果
○中田沙紀・袋布昌幹(富山高等専門学校)・萩野芳章・高田将文(不動テトラ)・松岡隆晴・清水義喜(ダイキン工業)
- S5-13 既成杭施工時の汚染拡散防止と汚泥無害化(その2)
○田中薫・三浦俊彦・森下智貴・長沼剛・西田憲司・光本純(大林組)
- S5-14 乾式磁力選別工法を用いた重金属汚染土壌の現地浄化適用事例
○豊成駿・吉俊輔・友口勝(DOWAエコシステム)
- S5-15 酸化マグネシウム系不溶化材によるセレン汚染土壌の不溶化(その3)
○横島美香・上田陽一・中田英喜(宇部興産)
- S5-16 無機有害元素の不溶化への鉱物化学反応の適用－マグネシウムシリケート水和物を例に－
○佐藤努(北海道大学)・野澤笑子(北海道大学・環境材料エンジニアリング)・西木悠人・小林佑太郎・出井俊太郎(北海道大学)・山本中一(環境材料エンジニアリング)
- S5-17 バッチ式溶出試験および上向流カラム通水試験を用いた土壌含有元素と濁度の溶出挙動に係る検討
○染矢雅之・東野和雄・佐藤綾子(東京都環境科学研究所)・保高徹生・井本由香利(産業技術総合研究所)・肴倉宏史(国立環境研究所)
- S5-18 過硫酸塩によるポリ塩化ビフェニル(PCB)の分解に関する基礎実験
○秦浩司・根岸敦規(安藤ハザマ)
- S5-19 平成28年度除去土壌再生利用実証事業の報告(その1:再生資材化処理)
○光本純・松尾寿峰・井関泰文・高木俊治(除去土壌減容化・再生利用技術研究組合)
- S5-20 セシウム汚染土壌粗粒分の高度処理～超音波分級処理の実用化に向けた検討～

伊藤真由美・○高桑駿・広吉直樹(北海道大学)・伊藤健一(宮崎大学)・富田洋平・藤原茂樹(JFEエンジニアリング)

- S5-21 室内大型土槽を用いた油汚染地盤の非掘削浄化
○棚橋秀行・古田淳士・野村凌平(大同大学)
- S5-22 マイクロバブルオゾン処理工法の実汚染地下水への適用事例
○大橋貴志(NIPPO)・大保義秋(日本建設機械商事)・杉本憲治・吉中保(NIPPO)
- S5-23 開発粉じん飛散防止材の試験評価ー強度・生分解性が求められる一般工事への展望ー
○大橋麻衣子・小澤一喜・小川浩司(鹿島建設)
- S5-24 セシウム汚染土壌のアンモニウム洗浄における溶出率の検討
○樽岡晃大・米田稔・島田洋子・池上麻衣子(京都大学)・瀬戸内大樹(環境省)
- S5-25 関東地域の有楽町層に含まれるヒ素の鉛直分布
○中原花菜・橋本洋平(東京農工大学)
- S5-26 VOC汚染土壌の加温式原位置浄化法における実用規模装置の水処理性能
○奈良知幸・古川靖英・向井一洋・中島朋宏・奥田信康・清水孝昭(竹中工務店)
- S5-27 掘削ずりの岩石組織に着目したヒ素の溶出特性に関する基礎的検討
○野崎隆人・早川隆之・肥後康秀・松山祐介・守屋政彦(太平洋セメント)

セッション6 10月31日(口頭発表 15:05~16:15 ポスター発表 16:15~17:05)

- S6-01 新規*Dehalococcoides* 属細菌の分離の試み
○吉田奈央子(名古屋工業大学大学院)・Mohamed Ismael(名古屋大学)・日下部俊弥(名古屋工業大学)・片山新太(名古屋大学)
- S6-02 透過性地下水浄化壁の長期耐久性に関する支配要因について
○根岸昌範(大成建設)
- S6-03 ワイン残渣・ヤマブドウ果汁残渣を利用した過硫酸法によるVOC汚染浄化実証試験
○晴山渉(岩手大学)・遠藤哲哉(セロリ)・坂本宏行(大東環境科学)・鳴海貴之(岩手大学)
- S6-04 加温温度制御による揮発性有機塩素化合物の微生物分解高速化の検討
○北村岳・山崎祐二(竹中工務店)・田小維・鈴木市郎・小林剛(横浜国立大学)・清水孝昭(竹中工務店)
- S6-05 長期汚染粘性土中からの揮発性有機塩素化合物の溶出挙動のモデル化
○小林剛・河原知希・宮川涼・田小維(横浜国立大学)・山崎祐二・清水孝昭(竹中工務店)
- S6-06 1,4-ジオキサンによる土壌・地下水汚染の現場調査技術の検討ー現場簡易分析方法および地下水サンプリング方法ー
○中島誠・日高レイ(国際航業)
- S6-07 Fe(III)を用いたVOCsの光分解における種々の有機酸の分解促進効果について
○盛田凱矢・晴山渉(岩手大学)
- S6-08 地下水汚染に対する鉛直遮水壁と揚水井戸の効果的な設置位置の検討
○柴田健司・日笠山徹巳・杉江茂彦・鈴木和明・松尾晃治(大林組)
- S6-09 中国の土壌環境政策に関する動向とその影響
○羽瀨博臣・仇啓涵(住化分析技術上海)・大悟法弘充(住化分析センター)・羅旭彪・肖瀟(南昌航空大学)・冷健雄(江西智匯環境技術)
- S6-10 地下水揚水を併用した原位置封じ込め対策における長期水質観測結果
○塩谷剛(栗田工業)
- S6-11 掘削海成堆積物から放出、再吸着されたヒ素の形態と還元条件における環境安定性
○鎌田明秀(明治大学)・三浦俊彦・井出一貴(大林組)・加藤雅彦(明治大学)
- S6-12 ヒ素・フッ素複合汚染に対する新規吸着材の評価
○森田一太・平井恭正(石原産業)
- S6-13 模擬分別土砂の重金属溶出特性とコンクリート片混入率の関係
○谷川元治(日本国土開発)・加藤雅彦(明治大学)
- S6-14 石炭灰中の溶出規制対象元素解析
○長尾有記・吉井清隆・吉田洋一(宇部興産)
- S6-15 バッチ式溶出試験における土壌の重金属溶出濃度・総溶出量へのスレーキングの影響
○木下久美子・野澤笑子・山本中一(環境材料エンジニアリング)・伊藤健一(宮崎大学)・佐藤努(北海道大学)
- S6-16 砒素吸着鉄粉の反復使用時における砒素含有量および処理サイクルに関する検討
○海野円・根岸昌範・高畑陽(大成建設)
- S6-17 中国土壌汚染等の環境リスクと対応、工場移転・重点監視企業・自主調査対策での対応事例と行政指導
○山内仁・王寧・雷鳴・張磊・賈璐桃(恩拜欧(南京)環保科技)・松井一(損保ジャパン日本興亜(中国))
- S6-18 自然由来基準不適合土壌と人為汚染土壌の境界とは？
○鈴木弘明(日本工営)
- S6-19 瓦礫選別用中性型剥離材の開発
○赤坂真吾・尾花誠一・福光邦夫(宇部マテリアルズ)
- S6-20 バリウム系放射性ストロンチウムの処理資材について

○大石徹(日鉄住金セメント)・高橋嘉夫(東京大学)・徳永紘平(日本原子力研究開発機構)

S6-21 掘削時における各種資材を用いたベンゼン揮発抑制の効果確認試験

○日野良太・大西健司・大島義徳・西川直仁(大林組)

S6-22 除染廃棄物減容のための電場によるセシウムイオンの除去

○井川学・土井遼河・関口友麻・中居愛都咲・松野千加士(神奈川大学)

S6-23 業務効率化のための土壤汚染調査支援システムの開発

○岩崎広江・三野香里・松村綾子・松尾寿峰・金子伯男(大成建設)

S6-24 1,4-ジオキサン汚染サイトに対する電気発熱を用いた原位置浄化技術の開発

○佐藤徹朗・窪田成紀・瀬野光太(国際航業)・長曾哲夫(島津製作所)

S6-25 1,4-ジオキサン汚染粘性土化学酸化分解処理の促進と土質改良方法の検討

○緒方浩基・西田憲司・佐藤祐輔(大林組)

S6-26 半止水型土壌カラムを用いた揮発性有機塩素化合物の加温浄化における土壌内の細菌群集構造

○川村美帆・田小維・鈴木市郎・武田穰・小林剛(横浜国立大学)・山崎祐二(竹中工務店)

S6-27 Merlinoite型ゼオライトによるCs除去

○中田慎吾・角谷祐樹・佐野誠・鈴木俊光・三宅孝典(関西大学)